



神戸女学院大学音楽学部

アウトリーチ通信

神戸女学院大学音楽学部 アウトリーチ・センター

2024年9月20日発行 第44号

子どものための七夕コンサート ～みんなの願いを音楽に乗せて～

日時：7月6日 第1部 11時 第2部 15時（60分間）

場所：神戸女学院大学エミリー・ホワイト・スミス記念講堂

出演：石田桜子、工藤万李花、武生采子、脇田彩名(声楽)、村田沙耶(オルガン)、
苅屋知絵梨、岸本杏、馬場彩、松永理来、三野杏紗(ピアノ)、清水萌花(フルート)、
倉永真理(ピッコロ・フルート)、増沢千沙都(クラリネット)、小野千夏(バスクラリネット)
天海和(サククス)、大川紗希(トランペット)、龍咲良(トロンボーン)



今回の公演は「みんなの願いを音楽に乗せて」というサブタイトルを付け、「列車に乗って天の川に出掛けるコンサート」をコンセプトにお話や演出、構成を考えました。

今回、このコンサートをつくるにあたり、台本の作成よりも先に選曲を行いました。

例年よりも出演者が17人と多く、出来る曲の幅が広がり、選択肢が増えたことで、選曲に苦戦しましたが、私たちの学年は楽器の種類が多いことが強みだと感じたため、楽器をふんだんに活用したプログラムになるように考えました。

また、保育園や幼稚園で歌っていると思われる童謡などもプログラムに取り入れましたが、普段子どもたちが聴いているものとは違う雰囲気味わってもらうため、楽器を含んだ編成にするなどの創意工夫を凝らしました。

また楽器紹介では、それぞれの楽器の違いを体感してもらえるように、全ての楽器で同じ曲を使い、音色の差を言葉で説明してから実際に演奏をする、というスタイルで紹介を行いました。

台本を作成する際には、お客様に話しかけているときは敬語を、演者同士で話しているときはフランクな会話調にするなど、口調にもメリハリをつける工夫をしました。

また、七夕や夏の三角の説明をする時には、視覚的にも聴覚的にもわかりやすくなるように、パワーポイントの動きと言葉での説明を連動させました。どうすればパワーポイントの方を見てもらえるか、お客様の目線の誘導にも気を配りながら声掛けを考えました。

また、列車に乗って出かけるというコンセプトの通り、チケット受付で子どもたちに天の川行きチケットを配りました。公演中、車掌のアナウンスで子どもたちにチケットを見せてもらい、天の川行きの電車に乗車してもらうという演出を入れました。ステージ用にも大きな切符を用意しましたが、最初に作成していた段ボール製のチケットは耐久性に欠けて心許なかったため、急遽プラダンシートで作成するなど、小道具の作成も公演直前まで模索しました。

実際に講堂の舞台でリハーサルを行った際、演奏者が多いためピアノの演奏者が見えなくなることや、プロジェクターでパワーポイントを映していると、センターに立つ演奏者に映像が被ってしまう、などという問題点が発覚したため、舞台上での立ち位置にも工夫が必要でした。ピアノ位置を少し上手側にずらして、ピアノ椅子をセンターにすることで、上記2点の問題点を改善することができました。ステージへの出入りもスムーズにいこう、上手は楽器を持つ演奏者が、下手は持たない演奏者が使用するというルールにし、出演者が多い故に起こる動線の問題点を解決しました。

第1部は前日のリハーサルで変更をしたステージの出入りがなかなかスムーズにいかなかったところが反省点です。また、〈手のひらを太陽に〉のアクティビティのところまで立ってくださいというアナウンスを入れましたが、講堂は前の座席との距離が近いこともあり、子どもたちが立つのにも時間がかかったのが気になる点でした。

それでも、お客様は予想を超える盛り上がりで、演奏している私たちもとても楽しむことができました。

第2部は第1部に比べ、対象年齢が上がったからか盛り上がりは少なく、その分スムーズに公演することができたと思います。言葉遣いや内容を、年齢に合わせてもう少し難しくしても良かったのではないかと、今振り返って感じています。

また第1部で予想以上に体力を使い、公演の合間にしっかり休息はとったものの、疲労が残っている状態での本番だったので、2部制の場合、体力面での工夫が必要だと痛感しました。

出演者数が多かったこともあり、複数人で演奏する曲の合わせなどの練習時間を合わせるのが大変でした。また、準備期間と教育実習期間が被るメンバーも多く、練習や準備への関わり方の配分が難しいと感じました。(石田 桜子・記)

P R O G R A M	
1. 映画「ピノキオ」より〈星に願いを〉/オーケストラ	オルガン
2. 映画「サウンド・オブ・ミュージック」より〈ドレクの歌〉 /チャロート・ワグネル	ピアノ・声楽・管楽器
3. たなばたさま / 下福徳	ピアノ・声楽・タラリネット
4. 見上げてごらん夜の星を / ハザルキ	ピアノ・声楽
5. きらきら星 / フランス訳	ピアノ・管楽器・オルガン
6. A列車で行こう / ビロー・ストレイホーン	ピアノ・管楽器
7. 手のひらを太陽に / ハザルキ	ピアノ・声楽
8. 〈動物の楽肉祭〉より〈白鳥〉/ホー・マシュー・サンズ	ピアノ・バス・タラリネット・フルート
9. 映画「サウンド・オブ・ミュージック」より〈私のお気に入り〉 /チャロート・ワグネル	ピアノ・オルガン・声楽
10. 交響曲第9番〈新世界より〉第4楽章 / フランシス・ドヴォルザーク	ピアノ・管楽器・タンバリン・ドラム
11. たなばた / 新井	管楽器
12. 銀河鉄道999 / タカハシキヒデ	ピアノ・声楽・管楽器



くるみ幼稚園 冬の音楽会

日時：2月22日 10時 (40分間)

場所：くるみ幼稚園 (兵庫県西宮市仁川町5-6-49) 園児対象

出演：4年生 芦沢梨里沙 (フルート)、金悠雅、富田萌絵、山田詩織 (ピアノ)



今回は、受講生全員で行える最後の実習でした。また、実習生の富田萌絵の出身幼稚園ということもあり、皆少し特別な思いで実習に挑みました。

1曲目の後〈山の音楽家〉で楽器紹介をしました。最後は園児にも歌で参加してもらい、少し距離が縮まったことを感じました。

4曲目はくるみ幼稚園で普段から歌っている曲だと事前に伺っていた〈まつぼっくり〉に、振りをつけて演奏しました。初めて見る振り付けに、最初のうちは着いてくるのに必死な様子でしたが、2回目からは皆覚えて楽しそうに踊ってくれて安心しました。

演奏した12曲のうち、6曲はクラシックを選曲したので、園児が飽きてしまわないか心配していました。しかし、8曲目の〈剣の舞〉から4曲クラシックが続きましたが、じっと集中して聴いてくれてとても嬉しかったです。

アンコールで〈ぼよん行進曲〉を演奏しました。知っている子がほとんどで、立ち上がって歌いながら踊ってくれました。

質問や問いかけにたくさん答えてくれたり、一緒に歌うコーナーでは大きな声で歌ってくれたりして、司会もスムーズに進めることができました。また、聴きに来てくださっていた親御さんや先生方も明るく積極的に参加してくださり、終始明るく楽しい雰囲気です実習を終えることが出来ました。(山田 詩織・記)

ぶろぐらむ		
1.	あい あいさつ 愛の挨拶	E.エルガー
2.	やま おんがくか 山の音楽家	ドイツ民謡
3.	ゆき ゆき	もんぶしょうしょうか 文部省唱歌
4.	しき ふゆ 四季より「冬」ラルゴ	A.ヴィヴァルディ
5.	ゆき じょおう アナと雪の女王メドレー	クリステン・アンダーソン＝ロベス ロバート＝ロベス
6.	どうぶつ しやにくさい 動物の謝肉祭より「フィナーレ」	サン＝サーンス

7.	せかいじゆう 世界中のこどもたちが	なかかわ 中川ひろたか
8.	つるぎ まい 剣の舞	A.ハチヤトウリアン
9.	きらきら ぼしへんそうきやく 星変奏曲	W.A.モーツァルト
10.	うれいひなまつり うれしいひなまつり	むららこうろう 河村光陽
11.	にんぎょう ゆめ の ぞ ぼ 人形の夢と自覚め	T.エステン
12.	となりのトロメドレー となりのトロメドレー	ひしひしろう 久石譲

芦屋市立宮川幼稚園

スプリングコンサート

～どうぶつたちとはるのピクニック～

日時：3月6日 10時 (40分間)

場所：芦屋市立宮川幼稚園 (兵庫県芦屋市浜町1-20) 園児対象

出演：3年 山本寧々花 (ヴァイオリン)、増沢知沙都 (クラリネット)、武田沙也香 (ホルン)
武生采子 (声楽)、松永理玖 (ピアノ) 馬場彩 (ピアノ)



初めて音楽によるアウトリーチを行い、子ども達の反応がすごく素直で、とても楽しく実習を行うことができました。また、今回は楽器の編成のバランスが良く、さまざまな楽器を知ってもらおう良よい機会になったのではないかなと思います。

今回のプログラムは春をテーマにし、ピクニックに行くという物語構成にしてみました。あまり聞き馴染みのないクラシック音楽から、皆が知っている童謡を組み込み、楽器紹介を行いました。みんなどの楽器にも興味津々ですごく盛り上がったのでうれしかったです。また、クラシックを演奏した際も静かに聞いてくれました。

芦屋市立宮川幼稚園の子どもたちは音楽に対する知識や理解力が高いと伺っていたため、アクティビティとして、手話を組み込むことにしました。私たち大学生が苦戦して覚えた中、幼稚園の子どもたちはあっという間に覚えてくれて、私たち一同はすごく感心しました。そして、元気な声と一緒に歌ってくれました。

最後に、園児の皆さんからプレゼントをいただき、園歌を歌っていただきました。

私たちが演奏に伺い、みんなに喜んでもらうつもりが、私たちが元気をもらえた公演だったと思います。とてもよい経験をさせていただいて、本当に幸せな時間でした。ありがとうございました。

(馬場 彩・記)

プログラム

1. ラデツキーこうしんきょく

作曲 J.シュトラウス1世

2. ジ・エンターティナー

作曲 S.ジョプリン

3. やまのおんがくか

作詞 水田晴仙 作曲 ドイツ民謡

4. オープリマヴェーラ

作曲 A.ティリンデッリ

5. おべんとうばこのうた

作詞 香山美子 作曲 小森昭宏

6. はなのワルツ

作曲 P.I.チャイコフスキー

7. さんぽ

作詞 中川孝枝子 作曲 久石譲

8. しゃぼんだま

作詞 野口雨情 作曲 中山晋平

9. にじ

作詞 新沢としひこ 作曲 中川ひろたか

10. あいのあいさつ

作詞 山下 啓 作曲 E.エルガー

西宮阪急 SPRING CONCERT

日時：3月9日 13時 (40分間)

場所：西宮阪急 (兵庫県西宮市高松町14番1号) 買い物に来ているお客様対象

出演：芦沢梨里沙(フルート)、原田菜花(オーボエ)、武田沙也香(ホルン)
稲本渡先生(クラリネット)、桑原正善先生(ファゴット)



私は誰かと一緒に演奏するのが好きで、中でも木管五重奏をやってみたく強く思っていました。なぜなら、それぞれに特有の柔らかい音色を持つ木管楽器が集まることで、ソロでは決して出せない音色を出すことができるからです。

今回実際に木管五重奏をやってみて、最初はそれぞれの楽器の特性の違いもあり、音を合わせるのが難しかったのですが、練習をしていくうちに音が重なり合っていく感覚がとても楽しく、大きなやりがいを感じました。

今回演奏したなかで印象に残っている曲は、〈山の音楽家じゅんばん協奏曲〉です。この曲には、それぞれの楽器の有名なソロ曲が出てくるのですが、ソロを担当する楽器に合わせて伴奏の音色などを変えることがとても難しかったです。しかし、5人の息がぴったり合うとなんとも言えない達成感があり、お客さまも楽しそうに聴いてくださっていたため、とても印象に残りました。

始まる前から多くのお客さまが待っていてくださり、登場とともに拍手をいただけたことがとても嬉しかったです。曲によって聴いてくださる方や、じっくり聴いてくださる方など様々な方がおり、皆様に木管五重奏の良さを少しでも伝えることができた演奏会になったのではないかと思います。(芦沢 梨里沙・記)



たからんまつり ガーデンコンサート

日時：3月30日 10時 (40分間)

場所：宝塚市立文化芸術センター ガーデンホール (兵庫県宝塚市武庫川町7番64号)

出演：4年 芦沢梨里沙(フルート)、富田萌絵(ピアノ)、山田詩織(ピアノ)



お客さんが少ない状態から始まり不安があったのですが、演奏するたびにお客さんが増えていくのが分かり凄くうれしかったです。

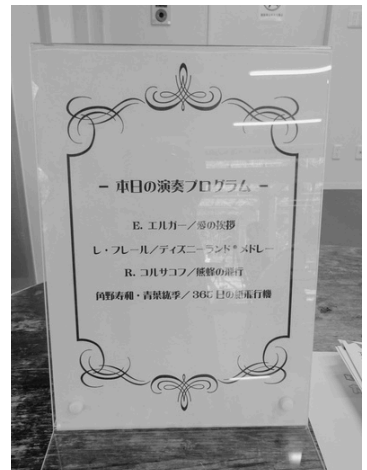
〈ディズニーランド®・メドレー〉を弾いているときに子どもが前に近づいてきたのが印象的でした。

フルートの速吹きについて説明した後に〈熊蜂の飛行〉を演奏するとお客さんは指の動きに注目して演奏を聴いてくれていました。〈365日の紙飛行機〉を弾き始めると、年配の女性2人が「この曲知っている」と会話しているのが聞こえてきました。耳なじみのある曲を生演奏でお届けできてよかったです。

公演後に残って私たちに直接「よかったよ」と感想を伝えてくださった方がいて凄くうれしかったです。

私たちにとって最後のアウトリーチ実習であるこの公演は、今まで以上に成功させたい思いが強かったので、最後にあたたかい拍手をたくさん頂けて安心したのと同時に、改めて音楽の力を感しました。

(富田 萌絵・記)



西宮市立門戸幼稚園 あじさいコンサート

日時：6月7日 10時 (45分間)

場所：西宮市立門戸幼稚園 (兵庫県西宮市門戸東町3-25) 園児対象

出演：4年 清水萌花 (フルート)、大川紗季 (トランペット)、石田桜子 (声楽)
協田彩名 (声楽)、岸本杏 (ピアノ)、三野杏紗 (ピアノ)



今回わたしたちのグループでは園児のみんなと一緒に歌を歌い、アクティビティが出来る曲を取り入れることで、みんなで音楽をすることの楽しさを伝えたいと考えていました。そのことから、門戸幼稚園で普段から歌われている童謡や〈虹〉を取り入れ、曲のフレーズごとに止まりながらじゃんけん列車をして遊ぶことが出来るプログラム構成にしました。

ピアノ教室に通っているなど、普段から幼稚園以外で音楽に触れている子でもプロの演奏会を聴きに行く機会はなかなかないと思うので、園児の子で『音が綺麗だった』や『声が綺麗だった』と言ってくれた時はとてもうれしかったです。

その他、〈剣の舞〉をピアノの連弾と管楽器で演奏や、〈見上げてごらん夜の星を〉を声楽の二重唱で演奏しました。例え曲を知らなくても、凄いという表情で園児の子たちが見てくれていてどんな反応をしてくれるのか不安を抱いていたので、とてもやりがいを感じました。ただ、園児とのやり取りがこの曲を知っていますか？などの質問だけになってしまったので、アクティビティだけではなくMCなどで園児たちと少しでも会話出来るように工夫すれば、更に楽しんでもらえるのではないかと感じました。(大川 紗季・記)

プログラム

1. ラデツキーこうしんきょく
作曲 J.シュトラウス1世

2. ジ・エンターティナー
作曲 S.ジョプリン

3. やまのおんがくか
作詞 水田晴仙 作曲 ドイツ民謡

4. オープリマヴェーラ
作曲 A.ティリンデッリ

5. おべんとうばこのうた
作詞 香山美子 作曲 小森昭宏

6. はなのワルツ
作曲 P.I.チャイコフスキー

7. さんぽ
作詞 中川李枝子 作曲 久石譲

8. しゃぼんだま
作詞 野口雨情 作曲 中山晋平

9. にじ
作詞 新沢としひこ 作曲 中川ひろたか

10. あいのあいさつ
作詞 山下 啓 作曲 E.エルガー

西宮市立夙川幼稚園 にじいろコンサート

日時：6月12日 10時 (45分間)

場所：西宮市立夙川幼稚園（兵庫県西宮市松ヶ丘町9-23） 園児対象

出演：4年 馬場彩（ピアノ）、松永理来（ピアノ）、増沢千沙都（クラリネット）

倉永真理（フルート）、武田沙也香（ホルン）、龍咲良（トロンボーン）、武生采子（声楽）



今回のコンサートでは、「お外に出て色々な楽器の音色に触れよう」というテーマで選曲しました。

〈ドレミの歌〉に始まり、続けて、梅雨の時期にちなんだ〈かえるのうた〉を披露しました。様々な楽器で輪奏したり、色々なカエルの鳴き声を表現したり、曲の最後には園児たちも一緒になって歌ってくれました。

また、雨にちなんだ曲として、ピアノによる〈水たまりにうつった世界〉、ホルンとトロンボーンによる〈雨に唄えば〉を演奏しました。

園児たちもよく知っていた〈にじ〉では、手話を使ったアクティビティを取り入れました。

終わりには全員で〈虹の向こうに〉を演奏し、お別れの挨拶として〈愛の挨拶〉を演奏しました。

途中、体を動かす時間も取り入れることで、飽きずにコンサートを楽しんでくれたように思います。

園児たちは私たちの問いかけに元気に応えてくれるだけでなく、アクティビティにも全力で取り組んでくれました。そして、真剣に音楽に耳を傾けてくれる姿勢が何よりもうれしかったです。（武生 采子・記）



「ベガにオーケストラがやってきた！ Vol. 13」 × 「たからものピアノ」 プレコンサート

日時：6月20日 11時 (30分間)

場所：ソリオ宝塚 メインプラザ (兵庫県宝塚市栄町2-1-1) 施設利用者 対象

出演：4年 石田桜子 (声楽)、松永理来 (ピアノ)



駅前のストリートピアノという公の場所で、また不特定多数の人が訪れる環境で公演を行うのが初めてで、本当に私たちの音楽を聴いてくださるのだろうかと不安に思っていました。しかし、演奏をするうちにだんだんと人が集まり、様々な角度から聴いてくださっているお客様の姿を見ることができて、とてもうれしく思いました。このようなフラットな環境だからこそ、足を運びやすく、それぞれの好む距離で音楽を楽しんでいただけたのではないのかと考え、誰でも自由に音楽に耳を傾ける環境があることはとてもよいと感じました。

同時に、今回の公演で人を魅了させることのむずかしさを学びました。

特にプログラムを考える段階で、今回は様々な世代の方が通りかかると考え、どのような曲目を演奏するのがよいのかとても悩みました。私たちは、どのタイミングからでも聴きたくなるように、そして音楽の魅力が伝えられるように、ワンフレーズ聴いただけでも耳に残るような明るく短くハツラツとした曲や、誰もが知っている曲を中心にプログラムを作成しました。

その結果、演奏が終わった後に、よかったよと声をかけてくださった方がいて、私たちの音楽が人々の心になにかを届けることができたのかと思うと、うれしい気持ちでいっぱいになりました。

これからのアウトリーチ活動においても、この経験を活かして、どのような工夫をすればよりよくなるのか、仲間と共に考え、一人でも多くの方々に音楽をお届けしたいです。

(松永 理来・記)

11:00

声楽：石田 桜子 ピアノ：松永 理来

ナボリの歌 / チャイコフスキー

オペラ《ラ・ボエーム》より
〈私が街を歩けば〉 / ブッチェーニ

クラヴサン 曲集第2巻《第6オールド》より
〈神秘なる バリケード〉 / クーブラン

見上げてごらん夜の星を / いずみたく

ナボリ / ブーランク

オペラ《ジャンニ・スキッキ》より
〈私のお父さん〉 / ブッチェーニ

日時：6月20日 13時 (30分間)

場所：ソリオ宝塚 メインプラザ (兵庫県宝塚市栄町2-1-1) 施設利用者 対象

出演：4年 武生采子(ソプラノ) 岸本杏(ピアノ)



宝塚ベガホールにて6月24日、25日の2日間にわたって行われたサマーコンサートのプロモーションとして、阪急宝塚駅に直結したショッピングモール「ソリオ宝塚」にてミニコンサートを行いました。

サマーコンサートのプログラムに関連しながらも親しみやすい曲選びを意識し、ミュージカル《ウエストサイド物語》より〈すてきな気持ち〉や、歌劇《フィガロの結婚》より〈恋とはどんなものかしら〉などを演奏いたしました。

平日のお昼という人の集まりづらい時間ではありましたが、開演前から十数名ほどのお客様にお集まりいただいたほか、演奏中にも2階や3階から聴いてくださったり、お買い物の途中で足を止めてくださったりしたお客様も多数いらっしゃいました。

小さなお子様が最初から最後まで聴いてくださったことがとてもうれしく、印象に残っております。

前述の2曲に加え、〈愛の讃歌〉や〈見上げてごらん夜の星を〉といったクラシック音楽にこだわりすぎない柔軟なプログラムを組んだことで、午前公演ともまた違ったアプローチができたのではないかと感じました。この度は貴重な機会をいただき、誠にありがとうございました。

(岸本 杏・記)

13:00

声楽：武生 采子 ピアノ：岸本 杏

愛の讃歌 / モノ

オペラ《フィガロの結婚》より
〈恋とはどんなものかしら〉 / モーツァルト

愛の夢 第3 番 変イ長調 S. 5413 / リスト

ウィーンの謝肉祭の道化芝居
「幻想的情景」作品 261 / シューマン

ミュージカル《ウエストサイド物語》より
〈すてきな気持ち〉 / バーンスタイン

見上げてごらん夜の星を / いずみたく

スペシャル・コンサート ～おととあそぶ～ 2024年10月19日（土）

オーケストラ「大阪交響楽団」のトロンボーン奏者として活躍している矢巻正輝氏と、関西のジャズシーンでさまざまなミュージシャンと共演するピアニストの梅田望実氏によるスペシャルコンサートです。

時代やジャンルを超えて聞き継がれるいつかどこかで聞いたことのある名曲の数々を、聴くだけではなく、実際に指揮をしたり音を出したりして「音と遊ぶ」ひと時をお楽しみください。

演奏予定曲目

- ・バッハ/主よ、人の望みの喜びよ
- ・ビゼー/歌劇「カルメン」より前奏曲
- ・指揮してみよう
～ブラームス/ハンガリー舞曲第五番を使って～
- ・サン＝サーンス/動物の謝肉祭より「白鳥」 ほか



子どものためのクリスマス・コンサート ～きいて、みて、かんじて～ 2024年12月14日（土）

神戸女学院アウトリーチ既修生を中心に、フルート、オーボエ、ピアノ、舞踊という個性的な編成でお届けします。クリスマスの飾り付けがなされた講堂で、あたたかな雰囲気味わいながら、副題の通り「きいて、みて、かんじて」いただけるような公演となるよう、企画を進めています。

演奏予定曲目

- ・チャイコフスキー/〈葦笛の踊り〉
《くるみ割り人形》より
- ・モーツァルト/トルコ行進曲 (F. サイ編曲)
- ・ベートーヴェン/〈歓喜の歌〉
《交響曲第9番》より

◎ワークショップ

「第12回 音で遊ぼう！子どものための音楽作りワークショップ」

日時：2024年9月21日（土） 9：30～16：00

場所：神戸女学院大学 音楽館ホール

講師：英国ロンドン市立ギルドホール音楽院リーダーシップ専攻修了者

対象：小学生・中学生・高校生 先着30名

参加費：無料

応募方法：アウトリーチ・センターのホームページをご覧ください。

◎子どものためのコンサート・シリーズ 第68回

「スペシャル・コンサート ～おととあそぶ～」

日時：2024年10月19日（土） 14：00開演※3歳未満のお子様のご入場はご遠慮ください。

会場：神戸女学院 エミリー・ホワイト・スミス記念講堂

出演：矢巻 正輝（トロンボーン 大阪交響楽団副首席トロンボーン奏者）

梅田 望実（ピアニスト）

入場料：大人1,000円、子ども（3～17歳）500円

応募方法：アウトリーチ・センターのホームページをご覧ください。

◎子どものためのコンサート・シリーズ 第69回

「子どものためのクリスマス・コンサート～きいて、みて、かんじて～」

日時：2024年12月14日（土）

第1部11：00開演（年齢制限なし）

第2部15：30開演（幼稚園年長以上対象）

会場：神戸女学院 エミリー・ホワイト・スミス記念講堂

出演：廣瀬 紀衣（フルート）、山川 美和（フルート）、樋口 成香（オーボエ）

井上 裕紀子（ダンス）、中嶋 奏音（ピアノ）

入場料：大人500円、子ども300円

応募方法：アウトリーチ・センターのホームページをご覧ください。



音楽をお届けします



「アウトリーチ」とは、「一歩踏み出すこと」「手をさしのべること」。

ホールや劇場といったコンサート従来のかたちにとらわれずに、
社会のさまざまな場所にすてきな音楽プログラムをお届けします。

幼稚園・小・中学校へ：総合的学習支援プログラムとして、子どもたちに楽しい音楽体験を！

病院や美術館へ：催しの趣旨に合わせた音楽プログラムを、心を込めてお届けします。

お問い合わせ

神戸女学院大学音楽学部 アウトリーチ・センター（火～金 10：00～15：00）

〒662-8505 西宮市岡田山4-1 TEL：0798-51-8584 FAX：0798-51-8551

E-mail：outreach@mail.kobe-c.ac.jp <https://www.kobe-c.ac.jp/musicdp/outreach/>

